

横浜南部就労支援センター

令和 6 年度 事業報告

●令和 6 年度 事業目標

横浜市内 9ヶ所ある障害者就労支援センターのひとつとして、障害者及び雇用企業、その他関係機関からの相談を受けています。障害者雇用の在り方が多様化する中、また様々な形態の就労支援が増え続ける中、一次相談窓口として就労にとどまらず幅広い対応力が求められています。地域の就労支援力向上を目指し、各就労支援センター及び自立支援協議会等と協働し、就労支援分野の核として障害者雇用の啓発に努めています。その様な状況を踏まえて以下の目標を設定して支援に取り組みました。

- 昨年度新たな試みとして実施した地域向けの就労セミナーの効果を精査し、さらに充実したプログラムを企画して提供します。
- 登録後、センターと関わりが低い就労者やその家族等に対して積極的にアプローチして、現状把握やニーズ把握に努め、必要な支援につなげます。就労者向けのアンケート等を実施して内容に応じてフォローを行います。
- 地域の基幹相談やハローワーク等の関係機関を訪問し、地域ニーズの把握に努めます。また、様々な機会にセンターの情報発信を行い、必要な支援が行き届くことを目指し地域連携を強化します。
- 横浜市障害者就労支援センターのガイドラインが刷新されることから、市内 9 センター間で連携してガイドラインに沿った運営を行うとともに、国事業の就業・生活支援センターの動向等に注視し、9 センター連絡会において必要な意見具申を行います。
- 法人内の障害福祉サービス事業所や川崎・湘南の各センターと情報や支援ノウハウを共有して連携します。

●事業内容

(1)相談・支援の実施

一時相談の機能として、電話やメールなどの初回相談にて相談者のニーズを確認し、必要に応じて他相談支援機関と連携をしながら支援を行った。令和 6 年度は、新規相談 197 件の内、説明会参加が 49 件、内 10 件が登録となっている。求職者支援として、面談、企業実習、センターで就職活動に関する勉強会を実施した。

定着新規相談は、障害福祉サービス就労系事業所、及び養護学校・特別支援学校からの定着支援引継ぎが 48%を占めている。生活面の支援が必要なケースは基幹相談支援センターや他関係機関と情報共有を行いながら支援を行った。

【実績】

① 新規相談者数（件）

	求職相談	定着相談	その他
知的障害	22	29	1
精神障害	47	25	2
身体障害	9	3	1
なし・不明	42	9	7
小計	120	66	11
合計	197		

② 新規登録者数（名）

求職登録者	定着登録者
26 名	38 名

③ 新規就労者数

24 名

④ 延べ相談支援件数(来所、電話、訪問、同行等)

3698 件

⑤ 年度末登録者数

696 名

(2)求職者に対する支援の実施

登録者の希望、適性把握やセンターとしての見立てを擦り合わせ作成した支援計画を元に支援を実施した。状況整理のための面談を中心に、ハローワークへの同行、採用面接や実習の調整及び同行、応募書類作成、入社手続きのサポートなどを行った。また、勉強会では就職に向けての実践的な内容に加えて、就労準備が必要な登録者に向けた障害福祉サービスの情報提供も実施した。

【実績】

① 求職者勉強会

5 月 28 日実施 講師：センター職員(テーマ：自己理解について)

8 月 27 日実施 講師：ハローワーク横浜南 専門援助部門職員

(テーマ：履歴書と職務経歴書の書き方、ハローワークの活用方法)

11 月 19 日実施 講師：スーツ販売店店舗スタッフ(テーマ：スーツ着こなし講座)

2 月 25 日実施 講師：センター職員(テーマ：面接に役立つビジネスマナー&模擬面接)

② 協力企業における適性把握実施件数

20 件

③ 企業実習

10 件

(3)就労者に対する支援の実施

数年ぶりに、対面イベントとして「横浜南部就労支援センター連絡会」と「勤続表彰・就労者交流会」を実施した。横浜南部就労支援センター連絡会では、就労支援センターより「就労支援センターの支援状況」についての説明と金沢区基幹相談支援センターより「社会資源について」情報提供をしていただいた。勤続表彰式と同時に開催した就労者交流会でも多くの方に参加していただき、急遽定員を増やす対応を行った。他のイベントよりも就労者のニーズを感じたイベントだった。就労者とのつながり維持を目的に Youtube にて動画配信を引き続き行った。就労継続に必要な知識の提供として「お金の管理」多くの登録者に視聴していただいた。

・5 月 30 日 横浜南部就労支援センター連絡会

・8 月 1 日「お金の管理」

・12 月 6 日 就労者交流会・表彰式

(4)関係機関との連携

【実績】

① 磯子区発達障害児者地域支援ネットワークへの参画、地域における児童系支援機関との情報共有

において啓発活動を実施した。

- ② 磯子区自立支援協議会における専門部会の就労支援連絡会事務局を担当。継続的な情報共有に加え、相談部会との情報共有を行い情報交換を行った。
- ③ 地域連携の一環として、就労に向けた第一歩を踏み出すことを目的とした就労支援セミナーを1回開催した。
- ④ 横浜市内 9 センターとの連絡会議に年 6 回参加し、現状課題について情報共有するとともに今後の方向性を話し合った。
- ⑤ ハローワーク横浜南と管轄区内の企業の障害者雇用状況について情報交換を実施し、障害者雇用未達成の企業に対する支援について検討をおこなった。

(5)事業主支援の実施

企業との信頼や関係性維持に努め、雇用継続のための定着支援と新規雇用の啓発を行った。

ハローワークと連携し、障害者雇用を検討している企業の情報を共有していただき、企業のニーズを確認しながら、センター登録者とのマッチングに努めた。また、職場の環境調整や仕事の切り出し等、雇用にあたっての相談に対応している。

企業がナチュラルサポートを形成できるよう、必要に応じた職場巡回や、本人との面談によって職場定着をサポートした。体調不良等のため勤務が不安定な方についての企業からの相談が増加している。通院同行や関係機関との情報共有を行い、企業へのアドバイス等必要な調整を行った。

(6)職員参加研修

No.	研修名	日程	参加人数
1	障害年金セミナー「自分でも障害年金を申請できるように申請のポイントを解説」	6月6日	1
2	精神保健福祉基礎研修～基礎医学編～	6月12日	1
3	視覚障害・就労支援者講習会	6月20日、21日	1
4	自殺対策基礎研修	7月5日	1
5	ひきこもり支援研修	7月（各自視聴）	5
6	「障がい者就労支援力」について考える	9月24日他全3日	1
7	セルフヘルプ・グループに学ぶ 生きづらさとの向き合い方	11月28日	1
8	興奮している、怒っている人	11月28日	1
9	就労パスポート 支援機関向けワークショップ	12月12日	1
10	「”支援”が変わる面接技術」ナラティブ・アプローチの活用	12月17日	1
11	職業センターMWS 研修	1月20日	2
12	ジョブコーチ養成研修	2月8日他全6日	1
13	ロジャーズの（傾聴に関する）3原則（内部）	4月25日	6
14	ぽこ・あ・ぽこの近況（内部）	5月21日	6
15	就労選択支援事業の概要について（内部）	6月27日	6
16	成年後見制度について（内部）	7月25日	5
17	よこはま若者サポートステーションについて（内部）	8月22日	5

18	自立支援協議会について（内部）	9 月 18 日	5
19	社会保険の適用範囲拡大について（内部）	10 月 24 日	5
20	個人情報について（内部）	11 月 28 日	5
21	感情のコントロール（内部）	12 月 26 日	5
22	ナチュラルサポートについて（内部）	1 月 23 日	5
23	人生 100 年時代の健康 フレイル予防（内部）	2 月 27 日	5
24	睡眠について（内部）	3 月 25 日	5